

北海道浮魚ニュース

平成30(2018)年度22号

2018年11月1日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

10月31日、漁業情報サービスセンターより、第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域を対象とした2018年11月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁漁況部 (<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>)

今後の見通し (2018年11月)

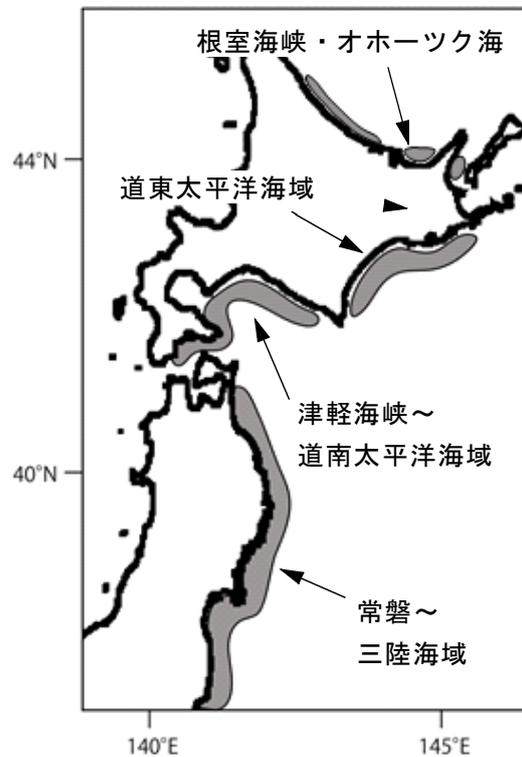
対象魚種：スルメイカ

対象海域：道東太平洋海域、根室海峡～オホーツク海、津軽海峡～道南太平洋海域、常磐～三陸海域

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群 (2018年級群)

- ・道東太平洋：(いか釣り、底びき網) 来遊量は前年並。漁場形成は散発的となり、11月で終漁となる。
- ・根室海峡～オホーツク海 (いか釣り、定置網、底びき網)：来遊量は前年並。明瞭な主漁期がないまま終漁する。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域 (いか釣り、底びき網、定置網、まき網)：来遊量は前年を下回る。対象期間を通じて漁場となる。



※文中の「前年」は2017年のことです。

・漁況は、2018年9月27日に発表された第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報 (浮魚ニュース第20号参照)、及び、その後の各地の漁況経過等から予測されました。

・8月に実施した釧路水試・北辰丸の調査 (浮魚ニュース第14号参照) 及び8～9月に実施した太平洋第2次漁場一斉調査での道東海域への来遊水準は低く、各港での漁獲も低調なことから、道東太平洋及び根室海峡～オホーツク海の漁場形成は散発的と考えられます。

・道南太平洋各港の10月上旬～中旬の漁獲量及びCPUE (1日1隻あたり漁獲量) は前年並みから前年を下回る値となり、今後の来遊も少ないと考えられることから、道南太平洋の11月の来遊量は不漁であった前年並と予測されました。